

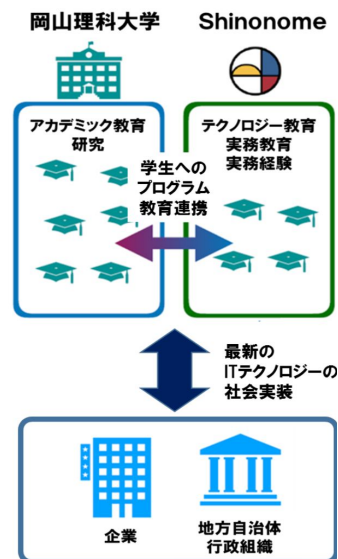
2020年5月12日

東京理科大学発ベンチャーの株式会社Shinonomeと 岡山理科大学がプログラミング教育で教育連携協定を締結 —プログラミングのプロフェッショナル育成に向けて連携—

株式会社Shinonome(所在地：東京都千代田区飯田橋4-10-1 セントラルプラザ2F ルーム7、代表：種市隼兵)と岡山理科大学(所在地：岡山県岡山市北区理大町1-1、学長：柳澤 康信)は、学生への多様なプログラミング教育の場を提供する目的で、教育連携協定を締結しました。岡山理科大学内に学生が無料でプログラミングを学べる場を設置し、学生のプログラミングスキル向上が望めるだけでなく、志の高いクリエイターの育成や、企業との連携による社会へのアウトプット(最新のITテクノロジーの社会実装)が可能となります。

実践的な開発プロジェクトでプログラミングを学ぶ

岡山理科大学は総合情報学部をはじめとする各学部で、学生のAI、IoT 関連技術のスキルアップを目的とした教育を実施していましたが、より柔軟で広範な教育の機会を提供できる仕組みを模索していました。この度の教育連携協定の提携により、岡山理科大学の学生に対し、企業との開発現場から実践的なプログラミング教育の場を提供し、学生の成長と地域に貢献できる人材育成を図ります。株式会社Shinonomeは、東京理科大学での実績を活かして、より多くの学生へのプログラミング教育と企業連携の場づくりを進めており、既に学生が中心となった企業との連携が始まっています。そのなかで東京理科大学以外の大学との連携は、岡山理科大学が初となります。多くの学生がプログラム開発の実践を経験し、よりレベルの高いプロフェッショナルな技術者の輩出を目指します。



〈株式会社 Shinonome 概要〉

大学内で学生向けに無料でプログラミングを主とした実践教育を提供するコミュニティ「PlayGround」を運営する東京理科大初のベンチャーとして設立され、現在は役員と社員6名が中心となって120人の所属学生と活動する。企業から受注するIT領域における社会実装を主とした有償案件は、所属する学生のOJT教材として活用。学生はOJTで社員や先輩、教授から必要な技術や知識を学びつつ、熱い問題意識を持つ若き学生を、大学および同様のベンチャーキャピタルがバックアップし、授業のみでは得づらい実践的な知見を学生に提供している。

コミュニティ開設にあたりメッセージを頂いた大学関係者様



岡山理科大学 総合情報学部 情報科学科

きたがわ ふみお

北川 文夫（教授）

〈略歴〉

教育学修士(筑波大学)

理学博士(広島大学)

〈プロフィール〉

マルチメディア・データベースの研究。

データベースシステムとWebを組み合わせたアプリケーションの研究を行なう。

趣味は山登りとボランティア。

〈PlayGround 参加学生へメッセージ〉

プログラミング学習を通して実際の開発の一部を担える点に大きな魅力を感じています。

私も授業でプログラミングを教えています。プログラムは書けるだけでは意味がありません。実際に動くプログラムを書く経験を沢山積んで欲しいと願います。



岡山理科大学 研究・社会連携部

くわもと まこと

桑本 誠（産学官金連携支援）

〈略歴〉

学士(大阪大学)
経営学修士(神戸大学)
MBA取得

〈プロフィール〉

Panasonic（当時 松下電器無線研究所）にてコンピュータ周辺機器の研究開発に携わる。
岡山理科大学 研究・社会連携部にて知的財産権を担当。
趣味はゴルフと水泳。

〈PlayGround 参加学生へメッセージ〉

岡山に住んでいようと、通信ネットワークは日本のみならず世界に繋がっています。
PlayGroundのオンラインプログラミング学習で、将来の選択肢を広げるチャンスを掴んで
貰いたいと思っています。

本資料に関するお問い合わせ先

- 株式会社Shinonome
- 岡山理科大学

広報担当：齋藤（a.saito@shinonome.com）
研究・社会連携部(電話 086-256-9731)